



開成物成務

平成31年 3月 1日 (金) 発行

校長 津田 将美

人とのつながりから生まれる 開成歴史通り

以前学校だよりでも紹介しました「開成歴史通り」が、延長されました。

きっかけは、6年生の地層の学習です。体験的学習を重視する本校では、今年度6年生担任の「生きた学習をしたい」という強い思いのもと、おい自然園園長の一寸木先生に講師をお願いしました。そのことから本校にはぎとり標本（地層を接着剤等使ってはぎとったもの）が保存されていることがわかりました。そして、一寸木先生から大脇さん（足柄の歴史再発見クラブ顧問、本校学校運営協議会委員長）へとつながり、このはぎとり標本は11年前、大脇さんが、本校4年生に特別授業で来ていただいた時に作られたものであることがわかりました。

「あんなきれいな富士山が噴火するなんて、信じられないよ。」

という一人の児童の言葉から、実際に富士山の噴火の痕跡を地層の中で確かめようとしたことが発端だったということです。町と地元の工務店の協力で、瀬戸屋敷の敷地内に重機を使って縦穴を掘り、実際に地面の中から、富士山の火山灰も含むその時代、時代の地層が生き生きと子どもたちの目の前に現われました。当時の写真からも、子どもたちの新鮮な感動、驚きが手に取るように伝わってきます。その時の4年生を指導していたのが、本校で毎年「文命堤」の学習でお世話になっている大井先生、いっしょに学習に参加した当時の校長先生が理科や体育の特別授業でお世話になっている富川先生だということ、ここでも人の縁を感じずにはいられませんでした。

とても貴重な学習資源であることがわかった以上、子どもたちが目にすることができる場所に置きたい、というのは自然な流れです。そして、約400年の地域の歴史を再現した地層の居場所としてすぐにつながったのが、「開成歴史通り」です。山崎前校長の人とのつながりに対する強い想いと使命感から生まれた開成小学校の150年近くにわたる歴史年表の先に、このはぎとり標本が大脇さんをはじめとする多くの人の想いとしてつながりました。そして、開成地区の400年の歴史と開成小学校の150年が一体となったことを感じました。

多くの方の熱意と善意がつまったこの標本は、大脇さんから学校への寄贈という形でいただくことができました。博物館の展示ブースのように説明資料もついた開成小学校の宝物です。今後、様々な学習の中で活用していきたいと思います。今回の寄贈に携わっていただいた多くの方々に、心から感謝いたします。

尚、寄贈後にわかったことですが、「あんなきれいな富士山が噴火するなんて、信じられないよ」とつぶやき、今回の一連の出来事の発端になった児童は、何と本校中尾教頭の息子さんでした！縁やつながりって不思議ですが、やっぱり偶然の中の必然なのかな、と強く感じました。



ダンスをたのしもう



2月6日（水）に、第5回家庭教育学級が行われました。今年度は、「ダンスをたのしもう☆ついでにシェイプアップもしちゃおう！」をテーマに、Studio HANA!のインストラクターの方に講師になっていただき、体も心もホットになるものでした。第1部は、子どもたちも大好きなヒット曲を子どもたちが踊りやすいようにアレンジしてご指導いただきました。子どもたちの惹きつけ方、乗せ方、動かし方がとても素敵で、テンポにのって踊って動いて楽しんで、あっという間の40分間でした。大人も子どもも汗びっしょりで、体育館の脇には子どもたちが脱いだ上着が積み重なりました。楽しく体を動かすことは、心も体も開放して、正に心身の健康につながるということを実感しました。

第2部の保護者の部も含めて、有意義な家庭教育学級となりました。今年度、意欲的に家庭教育学級を開催していただいた成人教育委員会の皆様、ありがとうございました。

メロディーコンサート

2月15日（金）、19日（火）、22日（金）の3日間に、メロディーコンサートが行われました。今年度も1年生から6年生までの多くの有志が、個人やグループで参加しました。

ピアノ、ビートの効いたダンス、手話を交えたダンス、なわとびダンス、あじさいちゃんマーチ等バラエティに富んだもので、開成小学校のすてきさんたちが、ここでも生き生きと輝いたすてきなコンサートとなりました。

このように、主体的に挑戦できる伝統と文化が本校の子どもたちには引き継がれています。このようなコンサートを通しても、開成小学校の良さが更につながっていきます。



ピカピカ班あそび

本校のめざす4つのすてきさんのうちのひとつ、「生き生き活動する子」を育てるための取り組みとして、「異学年集団遊びの工夫」があります。今年度最後のピカピカ班あそびが、2月21日（木）に行われました。例年、最後のあそびの中心は、5年生です。今まであこがれをもって見てきた6年生の代わりをする5年生の表情は引き締まっていて、誇らしげでもあります。写真からはそれを見守るうれしそうな6年生の雰囲気を感じられます。

真ん中の写真は、何とも微笑ましくなるものです。1年生から6年生まで、みんなでひとつの輪になって、心をひとつにゲームを楽しんでいる様子が伝わってきます。また、グラウンドや体育館でもそれぞれの班で誰もが楽しめるようなあそびが工夫されていました。立派に会を運営し、6年生に感謝の気持ちを伝えた5年生、今まですてきな後ろ姿を見せてきてくれた6年生、心から楽しむことで感謝の気持ちを伝えることのできた1～4年生に、大きな拍手を贈りたいと思います。それぞれの学年の仲間の姿を目に焼き付けて、また1つ階段を上がってほしいです。

